



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2018年10月08日 第889号「週刊五十嵐レポート」

教科書に書いてあることを信じない

10月1日、京都大学特別教授の本庶佑(ほんじょうたすく)氏がノーベル医学生理学賞を受賞した。1時間ほどの記者会見を観て、衝撃を受けた。

生命科学はまだよく解っていない。AIやロケットは、デザインがあって、明確な目標をかかげ、そこに向かってプロジェクトを立ち上げることはできる。生命科学は、何もわかっていなくて、デザインを組むことが難しい。応用だけやると大きな問題が生じる。何が正しいのか、何が重要なのか、解らないところでこの山に向かってみんなが進もうというのは、ナンセンス。多くの人が沢山の山を踏破して、そこに何かがあるか、まず理解した上でどの山が本当に重要な山なのか調べる。

研究に関しては、自分が知りたいこと、好奇心を大事にする。簡単に信じない。雑誌「サイエンス」や「ネイチャー」に出ているものの9割はウソ。10年経って残っているものは1割程度。自分の目で確信ができるまでやる。自分の頭で考えて、納得するまでやる。これが私のサイエンスに対するやり方。

小中学生に対して、何か知りたい、不思議だなという心を大切に。教科書に書いてあることを信じない。常に疑いを持って、本当はどうなっているんだろうという心。自分の目で物を観る。そして納得するまであきらめない。

ランチェスター経営の商品戦略のテキストには、「業歴が古くなると、業界のやり方に同質化していくので、作り方に差がなくなる。こうなると弱い会社ほど強い会社から圧迫を受けて苦戦し、ジリ貧になる。こうならないためには、業界で常識とされているものを疑ってみる。ホントかなー。何か思いついたら、人の命と会社の命に別状がなければ、試しにやってみる」と書かれている。

本庶氏は最後に、「実験の失敗は山ほどある。大きな流れが『こうだ』と思っていたら、断崖絶壁に落ちてしまったということはない。崖に行く前に気づかないといけない。サイエンスは段々と積み上がっていく。端と端をつなぐようなつなぎ方をすると危ない。その間に沢山、互い違いにつないでいくことで、正しい道がどうか解ってくる」と締めた。

自分を信じ、常識を疑う。小さな失敗はあるが、大きな流れは間違わない。

ちょっと
気になる出来事

多くの人がユーチューブの動画を観ている。私もその一人。

テレビで観れないものや、テレビではほんの一瞬しか映らないものなどは、ユーチューブで見ると全部見ることができる。今週号のノーベル医学生理学賞を受賞した本庶氏の記者会見は、テレビでは1分程度。新聞なども紙面に制約があるからほんの一部しか載せられない。ユーチューブでは始めから終わりまでの1時間、全て公開している。

メジャーリーグで活躍している日本人プレイヤーの動画も日々更新しており、スポーツニュースより多くの情報を得ることができる。

井上尚弥選手のWBA世界バンタム級タイトルマッチを見逃しても、動画で観ることができる。(何度も繰り返し観ましたが、あのワンツーはすごい)

7,8年前にベトナム視察に行ったとき、ベトナム人女性が流暢に日本語を話していた。どうやって勉強したの?と訊くと、「ユーチューブ」で日本のドラマを観て、覚えた。それを知っていたので、私は今、ユーチューブで中国のドラマを観ている。安上りだ。



一口メモ
知識

心のささやきに耳を傾けない

心は怠けのかたまりです。

心の衝動、エネルギーは「貪(どん)・瞋(じん)・痴(ち)」です。精進の反対です。

「いかに怠けようか」ということしか、心は考えないのです。

しかし、怠け心のままでいたら、何も得られません。退化するばかりです。心はそのことを知っているにもかかわらず無視するのです。だから、いともかたんに退化の方向に進んでしまうのです。

心を育てる人は、心のささやきに耳を傾けないほうがいいのです。それが安全です。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時

「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

